

## 令和元年度特定侵害訴訟代理業務試験

### 論点 [事例問題 1]

#### 問 1 起案

- 1 請求の趣旨に対する答弁
- 2 被告製品の特定（原告案に対する対案の提示）
- 3 非充足論（クレーム文言解釈、被告製品との対比）
- 4 均等論（第 1 要件、第 5 要件の規範と当てはめ）
- 5 サポート要件（規範と当てはめ）
- 6 損害論（推定覆滅）

#### 問 2 小問

- (1) ア 不法行為債権と相殺、受働債権の弁済期と相殺適状  
イ 時効により消滅した債権と相殺
- (2) ア 時機に後れた攻撃防御方法の却下  
イ 不当遅延目的の攻撃防御方法の却下  
ウ 控訴審における訴えの変更